



50th

Anniversary
東大和市市制 50 周年記念誌

1970 - 2020



編集・発行

東大和市 総務部 総務管財課

〒207-8585 東京都東大和市中 3 丁目 930 番地

電話：042-563-2111

印刷 株式会社共同印刷所東大和支店

HIGASHIYAMATO CITY

東大和市長
尾崎 保夫



発刊にあたって

東大和市は、昭和45年10月1日に市制を施行して以来、令和2年に50周年という節目の年を迎えることができました。これもひとえに、市民の皆様をはじめ、関係者の皆様の深いご理解とご協力の賜であり、心から感謝申し上げます。

東大和市は、今から約100年前の大正8年に、当時の芋窪、蔵敷、奈良橋、高木、狭山、清水の6か村が「大いに和して」一つの村にまとめられたことから、その名称を「大和」村としました。その後、町制施行を経て、昭和45年の市制施行の際に「東京の大和」ということから、その名称を「東大和」と改めました。

市制施行時には約4万6千人であった人口は、現在は約8万5千人となり、首都圏への通勤・通学の利便性と多摩湖や狭山丘陵をはじめとした豊かな自然が調和した住宅都市として発展してまいりました。

そして、この節目の年に、さらに持続可能なまちづくりを進めるため、「日本一子育てしやすいまち・シニアが活躍できるまち」を目指し、「子ども・子育て憲章」を制定し、「健幸都市」を宣言いたしました。

また、現在、新たなまちづくりの指針となる令和4年度を初年度とする新総合計画の策定を進めており、「水と緑と笑顔が輝くまち 東大和」を将来都市像に掲げ、少子高齢化と人口減少が進展する中であっても、活力あるまち、持続可能なまちを目指して、将来を展望したまちづくりを進めようとしております。

先人たちが築いてまいりましたこのすばらしい東大和市を、そして「大いに和して」に込めたその思いを未来につなぐため、将来のまちづくりに対しまして市民の皆様をはじめ、関係者の皆様のさらなるご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

この記念誌は、東大和市のこれまでの歴史と現在の姿をまとめたものです。資料としてお役立ていただくとともに、ページをめくるごとに東大和市への理解と愛着をより一層深めていただければ幸いです。

令和3年3月吉日

東大和市ブランド・メッセージについて



平成29年、東大和市では、定住人口の増加を目指したブランド・プロモーションの推進にあたり、ブランド・メッセージ及びロゴマーク（上図）を作成しました。

ブランド・メッセージとは、市の魅力や特長を短い言葉で表したものであり、「東京 ゆったり日和 東やまと」は、東京の都市でありながら、ゆったりと落ち着いていて、子育てしやすく、住みやすいまちであることを表現しています。

また、ロゴマークのデザインは、多摩湖の風景をメインに、子育てしやすく、都心と自然のバランスのよい“ちょうどよいまち”を表現しました。